

第3学年2組 国語科学習指導案

日 時 平成27年6月30日

場 所 図書館

指導者 担任

司書教諭

1 単元名 物語のしかけをさがして紹介しよう
(教材名「ゆうすげ村の小さな旅館」東京書籍3年上)

2 単元のねらい

○物語を読むことに興味を持ち、物語のしかけを探しながら読もうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

○文章中の語や表現に着目し、読むことができる。

【読む能力】

○表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べるができる。

【言語についての知識・理解・技能】

3 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「物語のしかけをさがして、物語を紹介する」ことを位置付けた。物語を紹介するためにしかけをさがしながら読むことは、文章中の細かい点に注意して読むことにつながる。従って、本単元でねらう「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」(C 読むことエ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

4 単元設定の理由

(1) 教材について

本単元は、小学校指導要領国語の内容 C 読むこと (1) エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」をねらいとしている。

言語活動は、C (2) エ「紹介したい本を取り上げて説明すること。」に対応する。

本教材「ゆうすげ村の小さな旅館」には、「物語のしかけ」が隠されている。ここで言う「物語のしかけ」とは、不思議な登場人物の正体を表す表現とする。「美月」という登場人物は、物語の最後で正体が「ウサギ」と明らかになるが、その伏線は物語の所々に張られている。美月が「ウサギ」であることを表すしかけは以下の通りであるとする。

ページ・行	物語のしかけ	しかけが表すこと
P 57・10	色白のぼっちやりとしたむすめ	ウサギの毛の色、ふわふわした感じ
P 57・12	美月	ウサギと月の関係した名前
P 58・5～9	「ほら、きのうの午後…手つだってくれる人が…言 ってたでしょ。」 (へんねえ。買い物帰り、だれにも会わなかった	ウサギの耳のよさ

	けど……。)	
P 5 8・1 1	宇佐見のむすめ	「ウサミ」→ウサギに似た名前
P 5 8・1 2	ウサギダイコン	ウサギという名前を含んでいる
P 6 0・7, 8	たんぼぼの花とよもぎの葉っぱ	ウサギが食べるもの
P 6 1・1 1～ 1 3	「近ごろ、耳がよくなったみたいなんですよ。…ほかにうつしてやれましたよ。」	ウサギダイコンで耳がよくなる→ウサギの耳のよさと関係する
P 6 2・2～8	そういえば、つぼみさんの耳も、近ごろ、急によくなった気がします。…聞き分けることができました。	
P 6 3・6, 7	「…しゅうかくがおくれると、まほうのきき目が、なくなってしまうんです。」	
P 6 3・9, 1 0	「耳がよくなるまほうです。…まってるんですよ。」	
P 6 5・2, 3	二ひきは、ダイコンをぬいているところだったので	ウサギダイコンを育てているウサギ=毎朝、とれたてのウサギダイコンを持ってきてくれた美月

児童は、文章の細かい点に注意し、何度も読み返すことで、物語の結末につながる不思議な「物語のしかけ」を見つけ、表現や面白さの工夫に気付くことができる。児童が興味を持ち、楽しんで読み進めていくことができる内容である。学習活動の中では、物語のしかけをさがして紹介するという活動を通して、文章中の語や表現に着目させたい。

(2) 指導にあたって

本単元では、物語のしかけを見つけることを通して、文章中の語や表現に着目して読む力をつけることを目指したい。

第一次では、教材文の登場人物をおさえる中で、物語の中に、不思議な登場人物の正体を表す表現があることに気付かせ、本単元への興味を持たせたい。そして、文章中の語や表現に着目しながら物語のしかけを探る学習を通して、物語にしかけのある他の作品を読みたいという意欲を持たせたい。しかけのある作品の選定と書き込み式の図書リストの作成は司書教諭が行い、学校司書は主に作品の収集を行う。司書教諭が本の紹介を行い並行読書を促し、二次につなげる。さらに、児童には、個人で見つけたしかけを班で整理していく中で、しかけを見つける際の視点を考えさせたい。本教材では、「名前」「見た目」「身体的特徴」などが視点として挙げると考えられる。この視点を与えることが第二次からの活動につながる。

第二次では、まず、並行読書してきた本の中から自分で紹介したい本を選ぶ。選書した後は、教材文での読み取りを基にして物語のしかけを見つけさせ、付箋に書き出す。この際、第一次で考えた「しかけを見つける際の視点」を思い返すことが、しかけを見つけるための支援になると考える。次に、同じ物語を読んだ人で3・4人の班を作り、考えを出し合いながら物語のしかけを整理する。さらに、単元の終わりには班で「しかけ紹介」を行う。感想を交流させるとともに、物語への関心をもたせ、今後の読書活動へつなげたい。

本時では、同じ本を選んだ人で班を作り、物語のしかけを整理する。班で考えを出し合う際、個人で見つけたしかけについて、しかけだと思ふ理由を言わせる事で、自分の考えを整理することができるようにしたい。物語のしかけを見つけることができるか確認するために、担任と司書教諭は連携しながら児童の活動を助けていきたい。物語のしかけを分類することができた班から次時に行う「しかけ紹介」の練習をさせることで、意欲が途切れないよう配慮したい。

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・物語を読むことに興味を持ち、物語のしかけを探しながら読もうとしている。	・物語のしかけを見つけるために、文章中の語や表現に着目して読んでいる。	・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べている。

6 単元の指導計画及び評価計画（全9時間 本時 8/9）

次	時	主な学習活動	支援 ○担任 ☆司書教諭 ◇学校司書	評価			
				関心	読む	言語	評価規準
一	1	○登場人物をおさえ、物語にはしかけがあることを知り、学習の見通しを立てる。 ○教材文を読み、物語のしかけを見つける。	○登場人物をおさえる中で、物語の中に結末につながるしかけがあることに気付かせ、学習に興味をもたせる。 ○学習の見通しをもたせるために、本単元では教材文での学習をもとに、物語に「しかけ」のある他のファンタジー作品を読み、紹介し合うことを告げる。 ○物語のしかけを見つけやすいように、教材文を書いたワークシートを用意し、しかけだと思ふ箇所に線を引かせる。 ○しかけを見つける際、言葉の意味を調べることができるように、手元に国語辞典を置くよう指示する。	○	○		【関】物語を読むことに興味を持ち、物語のしかけを探しながら読もうとしている。 (行動観察、発言) 【読】文章中の語や表現に着目し、物語のしかけを探しながら読んでいる。(ワークシート・発言)

	2	○物語にしかけのあるファンタジー作品を読む。	◇物語にしかけのあるファンタジー作品を集める。 ☆物語のしかけ（登場人物の正体の表現）が複数あり、児童に分かりやすい作品を選択して紹介し、並行読書を促す。	○			【関】しかけのある物語を読むことに興味を持ち、読もうとしている。 （書き込み式の図書リスト・行動観察・発言）
	3	○教材文を読み、しかけを見つける。 ○見つけたしかけを付箋に書き、班で物語のしかけを整理する。	○しかけを見つける際、言葉の意味を調べることができるように、手元に国語辞典を置くよう指示する。 ○班で物語のしかけを整理する際、自分の考えを整理するために、しかけだと思ふ理由を言うよう助言する。 ○班でしかけを整理することで、一人では見つけられなかったしかけに気付くことができるようにする。		○	○	【読】文章中の語や表現に着目し、物語のしかけを探しながら読んでいる。（ワークシート・付箋・班で整理した用紙・発言） 【言】表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べることができる。（行動観察・発言）
	4 5	○「しかけ紹介」の仕方を知る。 ○班で整理した物語のしかけを全体で共有し、物語のしかけについて考える。	☆「しかけ紹介」の仕方を説明する。 ○見つけたしかけを基に「しかけ紹介」を行うことで、次時からの活動の見通しをもたせる。 ○物語で起きた出来事全体を振り返ることで、人物の行動や人柄にも、物語のしかけに関わるものがあることを確かめる。 ○しかけを見つける際の視点を考えさせることで、第二次からの活動につなげる。	○	○		【関】「しかけ紹介」に興味を持ち、活動への意欲をもっている。（行動観察・発言） 【読】文章中の語や表現に着目し、物語のしかけを探しながら読んでいる。（行動観察・発言）
二	6	○並行読書してきた本の中から、自分で紹介したい物語の候補を選ぶ。	○児童が挙げた候補の中から、紹介する物語を決める際、3・4人が同じ物語	○			【関】「しかけ」のある物語を読むことに興味を持ち、自分で紹介したい物

並行読書

並行読書

		を読むようにすることで、単元の終わりに行う「しかけ紹介」を班で行うことができるようにする。			語を選ぼうとしている。 (行動観察・発言)
7	○物語を読み、しかけを見つける。 ○見つけたしかけを付箋に書き、整理する。	○一次でおさえた、しかけを見つけるための視点を確認する。 ○物語のしかけを整理しやすいように、付箋を用意する。 ○しかけを見つける際、言葉の意味を調べることができるように、手元に国語辞典を置くよう指示する。 ☆児童が物語のしかけに着目して読んでいるか確認する。	○	○	【読】 文章中の語や表現に着目し、物語のしかけを探しながら読んでいく。(付箋の内容・行動観察) 【言】 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べることができる。(行動観察・発言)
8 (本時)	○同じ物語を選んだ人で班を作り、それぞれの物語のしかけを整理する。 ○「しかけ紹介」の練習をする。	○自分の考えを整理するためにしかけだと思ふ理由を言うなど、話し合う時の約束を示す。 ○班でしかけを整理することで、一人では見つけられなかったしかけに気付くことができるようにする。 ○☆物語のしかけに着目して読むことができているか確認する。 ○「しかけ紹介」の仕方を確認する。	○		【読】 文章中の語や表現に着目し、物語のしかけに気付いている。(班で整理した用紙・発言)
9	○「しかけ紹介」を行い、学習を振り返る。	○「しかけ紹介」の流れを確認する。 ○学習の成果を実感できるように、聞き手が感想やよさを伝える場を設定する。 ☆児童が紹介した物語に関連する本を紹介するこ	○		【関】 友達の「しかけ紹介」を聞いて、物語への関心をもち、物語を読もうとしている。(行動観察・発言)

		とで、今後の読書生活への意欲をもたせる。			
--	--	----------------------	--	--	--

7 本時の学習（8／9）

（1）本時のねらい

物語のしかけを整理し、文章中の語や表現に着目して読むことができる。

（2）展開

学習活動と予想される児童の反応	教師の支援 ○担任 ☆司書教諭	評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div data-bbox="183 947 692 1046" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>物語のしかけを出し合い、せいりしよう。</p> </div> <p>2 学習の進め方を確認する。 <話し合う時の約束を確認する></p> <div data-bbox="183 1312 692 1509" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・しかけだと思ふ理由を言いながら考えを出そう。 ・友達の考えを認めよう。 ・反応しながら聞こう。 </div> <p>3 同じ物語を選んだ人で班を作り、それぞれの物語のしかけを整理する。</p>	<p>○個人で見つけた物語のしかけを基にして班でしかけを整理し、「しかけ紹介」に向けて準備をする大切な時間であることを知らせ、学習意欲を高める。</p> <p>○話し合う時の約束を示す。</p> <p>○個人で見つけた物語のしかけを班で共有させることで、個人では見つけることができなかつたしかけに気付くことができるようにする。</p> <p>○☆本を読み返して、語や表現を確認させることで、細かい点に着目して読むことの面白さに気付くことができるようにする。</p>	<p>【読】文章中の語や表現に着目し、物語のしかけに気付いている。(班で整理した用紙・発言)</p>

4 「しかけ紹介」の練習をする。	○第5時で行った「しかけ紹介」を振り返り、「しかけ紹介」の仕方を確認する。	
5 本時の振り返りをする。	○班での活動のよさを振り返ることができるよう、発表を促す。 ○次時は、「しかけ紹介」の発表を行うことを伝える。	

(3) 本時の評価

	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童(班)への指導の手だて
読む	文章中の語や表現に着目し、物語のしかけに複数気付いている。	文章中の語や表現に着目し、物語のしかけに気付いている。	本を読み返し、自分の考えが明確になるように声かけをする。

8 研究の視点

・班で考えを出し合い、物語のしかけを整理させたことは、物語のしかけを読み取るのに有効であったか。